定置式バーコードリーダーMica/Libra

設定マニュアル Ver2.00



定置式バーコードリーダーMica・Libraの詳細マニュアルです。

内容

プログラムの設定手順	5
設定の初期化	6
FW の確認	7
ビープ音の設定(音色)	8
ビープ音の設定(音量:ボリューム)	9
本体スリープ設定1(無し(常時照射を続ける)、10分)	10
本体スリープ設定 2(30、60 分)	11
同一コード遅延(誤ってコードを2回読み取ってしまう対策)	12
RS-232C 用設定(ボーレート)-1	13
RS-232C 用設定(ボーレート)-2	14
RS-232C 用設定(パリティチェック 1)	15
RS-232C 用設定(パリティチェック 2)	16
RS-232C 用設定(データビットの設定)	17
RS-232C 用設定(ストップビットの設定)	18
RS-232C 用設定(フロー制御の設定1)	19
RS-232C 用設定(フロー制御の設定2)	20
RS-232C 用設定(一部メーカーの PC 用)	21
PS/2 キーボードインターフェース用設定(キーボードレイアウト・1)	22
PS/2 キーボードインターフェース用設定(キーボードレイアウト・2)	23
PS/2 キーボードインターフェース用設定(キーボードレイアウト・3)日本語キーボード	24
PS/2 キーボードインターフェース用設定(文字間遅延-1)	25
PS/2 キーボードインターフェース用設定(文字間遅延-2)	26
USB エミュレーション設定-1(USB 接続モデル用)	27
USB エミュレーション設定-2(USB 接続モデル用)	28
JAN・UPC アドオンコードの読取り・1(新雑誌コード等)	29
JAN・UPC アドオンコードの読取り・2(新雑誌コード等)	30
CODE 128/EAN 128 の読取り	31
CODE39・CODE32 の読取り-1	32
CODE39・CODE32 の読取り-2	33
CODABAR の読取り	34
INTERLEAVED 2/5 の読取り	35
MSI PLESSEY の読取り	36
CODE 93 の読取り	37
ISBN10 への変換	
ISSN の読取り	
GS1 DATABAR の読取り	40
GS1 DATABAR EXPANDED の読取り	41

最小読取り桁数の設定(説明)	43
最小読取り桁数の設定(コードの指定 1)	44
最小読取り桁数の設定(コードの指定 2)	45
最小読取り桁数の設定(桁数の設定(1~9 桁))	46
最小読取り桁数の設定(桁数の設定(10~16 桁))	47
日本向け ISBN の特殊設定・1(セパレート/送信等)	48
日本向け ISBN の特殊設定-2(セパレート/送信等)	49
日本向け ISBN の特殊設定-3(セパレート/送信等)	50
先頭に文字や制御コード(改行など)を付加する	51
末尾に文字や制御コード(改行など)を付加する	52
バーコードの種類の識別-1(識別一覧表)	53
バーコードの種類の識別-2(設定)	54
バーコードの種類の識別-3(データロジックパターン(比較表))	55
バーコードの種類の識別-4(データロジックパターン(設定))	56
バーコードの種類の識別-5(コードの種類によって先頭に任意文字の付加-1)	57
バーコードの種類の識別-5(コードの種類によって先頭に任意文字の付加-2)	58
UPCA を JAN13 に変換する(先頭 0 を読まない、12 桁のコードを 13 桁にする)	59
UPCE を UPCA に変換する	60
UPCE の先頭 0 を読み取る	61
JAN-8 を UPC-A に変換する	62
UPC-E チェックディジットを読み取る	63
EAN128の CODE 識別子(]C1)の設定	64
JAN-8 のチェックディジット送信設定	65
JAN-13 のチェックディジット送信設定	66
UPC-A のチェックディジット送信設定	67
UPC-A の先頭 1 文字送信設定	68
CODE39 のチェックディジット送信設定	69
CODE39 のチェックディジット検査設定	70
CODABAR (NW-7) のチェックディジット送信設定	71
CODABAR (NW-7) のチェックディジット検査設定	72
INTERLEAVED 2/5 のチェックディジット送信設定	73
INTERLEAVED 2/5 のチェックディジット検査設定	74
MSI/PLESSEY のチェックディジット送信設定	75
ISBN のチェックディジット送信設定	76
CODE39 START/STOP 送信設定	77
Codabar (NW-7) START/STOP 送信設定	78
Predefined ASCII/ Special keys	79
ASCII 一覧表-1(Predefined ASCII)	80
ASCII 一覧表-2(Predefined ASCII)	81
ASCII 一覧表·3(Predefined ASCII)	82

ASCⅡ一覧表-4	(Predefined ASCII)	83	3
ASCⅡ一覧表-5	(Predefined ASCII)		4
ASCⅡ一覧表-6	(Predefined ASCII)		5
ASCⅡ一覧表-7	(Predefined ASCII)		6
ASCⅡ一覧表-7	(Predefined ASCII)		7
ASCⅡ一覧表-8	(Predefined ASCII)		8
ASCⅡ一覧表-9	(Predefined ASCII)		9
ASCⅡ一覧表-10) (Predefined ASCII)		0
ASCⅡ一覧表-1	(Predefined ASCII)		1
ASCⅡ一覧表-12	2 (Predefined ASCII)		2

プログラムの設定手順

1.設定開始を読み取ってください。



設定開始(1.1)

2.次ページ以降の任意の設定バーコードを読取ります。



※他の設定コードを読み取らないよう、不要な設定コードは手で隠すなどして読み取ると スムーズに設定を行うことが出来ます。



3.設定終了を読み取ってください。

※途中でキャンセルする場合、下記のコードを読み取るか

USB ケーブルの抜き差しを行ってください。



設定キャンセル (1.2)

設定の初期化

設定をデフォルト値に戻します。 設定終了コードの読取りは不要です。



設定開始(1.1)



設定初期化(1.3)

FW の確認

FWにより、デフォルト値の設定が異なります。

Windows 側アプリのメモ帳を開いて下記の設定コードを読み取ることで確認が可能です。



1.1

ビープ音の設定(音色)

○まず、設定開始を読取ります。



設定開始(1.1)



音色設定(2.1.1) ※読み取った回数に応じて音色が変化します。



ビープ音の設定(音量:ボリューム)

○まず、設定開始を読取ります。



設定開始(1.1)



ボリューム設定 (2.1.2) ※読み取った回数に応じて音量が変化します。



本体スリープ設定1(無し(常時照射を続ける)、10分)

スリープに入る時間を設定します。

無し、10、30、60分から設定可能です。

○まず、設定開始を読取ります。



○下記より設定する項目を選択します。



スリープ無し:常時起動(2.2.1) ※モーターの寿命を縮めるため 必要がない場合は設定非推奨です。



スリープ 10 分(2.2.2) ※デフォルト



本体スリープ設定2(30、60分)

スリープに入る時間を設定します。

無し、10、30、60分から設定可能です。

○まず、設定開始を読取ります。



○下記より設定する項目を選択します。









同-コード遅延(誤ってコードを2回読み取ってしまう対策)

同一のバーコードの読取りに遅延をはさみます。

○まず、設定開始を読取ります。



設定開始(1.1)

○下記より設定する項目を選択します。







○最後に下記の設定終了を読取り設定完了です。



設定終了(1.1)

12 ※設定開始→設定する項目→設定終了の順に読取ります。

RS-232C 用設定(ボーレート)-1

RS-232C モデルの機械のみ必要に応じて設定ください。 USB モデルでは設定出来ません。

○まず、設定開始を読取ります。



○下記より設定する項目を選択します。









RS-232C 用設定(ボーレート)-2

RS-232C モデルの機械のみ必要に応じて設定ください。 USB モデルでは設定出来ません。

○まず、設定開始を読取ります。



○下記より設定する項目を選択します。



BAUDRATE 19200 (3.1.6)





RS-232C 用設定(パリティチェック 1) RS-232C モデルの機械のみ必要に応じて設定ください。

USB モデルでは設定出来ません。

○まず、設定開始を読取ります。



○下記より設定する項目を選択します。



PARITY NONE (3.1.10) ※デフォルト





RS-232C 用設定(パリティチェック 2) RS-232C モデルの機械のみ必要に応じて設定ください。

USB モデルでは設定出来ません。

○まず、設定開始を読取ります。



○下記より設定する項目を選択します。





RS-232C 用設定(データビットの設定)

RS-232C モデルの機械のみ必要に応じて設定ください。 USB モデルでは設定出来ません。

○まず、設定開始を読取ります。



○下記より設定する項目を選択します。



7 DATABITS (3.1.15)





RS-232C 用設定(ストップビットの設定)

RS-232C モデルの機械のみ必要に応じて設定ください。 USB モデルでは設定出来ません。

○まず、設定開始を読取ります。



○下記より設定する項目を選択します。



1 STOP BIT (3.1.20)



2 STOP BITS (3.1.21) ※デフォルト



RS-232C 用設定(フロー制御の設定1)

RS-232C モデルの機械のみ必要に応じて設定ください。 USB モデルでは設定出来ません。

○まず、設定開始を読取ります。



○下記より設定する項目を選択します。







RS-232C 用設定(フロー制御の設定2)

RS-232Cモデルの機械のみ必要に応じて設定ください。 USBモデルでは設定出来ません。

○まず、設定開始を読取ります。



○下記より設定する項目を選択します。



RTS/CTS ON (Half duplex) (3.1.26)



RS-232C 用設定(一部メーカーの PC 用)

ー部、メーカーの製品にて RS-232C 接続を行う場合、 スキャナーの認識のため、別途設定が必要な場合がございます。 受信機側で設定の指示がある場合のみ設定ください。

RS-232C モデルの機械のみ必要に応じて設定ください。 USB モデルでは設定出来ません。

○まず、設定開始を読取ります。



○下記より設定する項目を選択します。



Wincor Nixdorf Beetle Mode A1 (3.1.30)



Fujitsu-ICL Mode (3.1.35)



PS/2 キーボードインターフェース用設定(キーボードレイアウト-1)

PS/2 モデルの機械のみ必要に応じて設定ください。

○まず、設定開始を読取ります。



 ○下記より設定する項目を選択します。
インターナショナル・キーボード (ALT) (3.4.10) ※デフォルト (FW が LB75Vxxxx シリーズ)
(FW が M9FNxxxx シリーズ※2017 年 4 月以前)



US KEYBOARD (3.4.11) システムがデフォルト (ALT) KBW を 受け入れない場合の推奨設定



PS/2 キーボードインターフェース用設定(キーボードレイアウト-2)

PS/2 モデルの機械のみ必要に応じて設定ください。

○まず、設定開始を読取ります。



○下記より設定する項目を選択します。



FRENCH KEYBOARD (3.4.13)





PS/2 キーボードインターフェース用設定(キーボードレイアウト-3)日本語キーボード

PS/2 モデルの機械のみ必要に応じて設定ください。

○まず、設定開始を読取ります。



JAPANESE KEYBOARD (3.4.15) 日本語キーボードレイアウト (FW が M9FNxxxx シリーズ※2017 年5月以降)

○下記より設定する項目を選択します。



GERMAN KEYBOARD (3.4.16)



PS/2 キーボードインターフェース用設定(文字間遅延-1)

PS/2 モデルの機械のみ必要に応じて設定ください。

○まず、設定開始を読取ります。







文字間遅延 2MSEC (3.4.37) ※デフォルト



PS/2 キーボードインターフェース用設定(文字間遅延-2)

PS/2 モデルの機械のみ必要に応じて設定ください。

○まず、設定開始を読取ります。



○下記より設定する項目を選択します。





文字間遅延10MSEC (3.4.39)



USB エミュレーション設定-1(USB 接続モデル用)

通常はデフォルトでご利用いただけます。 別途、受信機側で指定がある場合のみ設定ください。

○まず、設定開始を読取ります。



○下記より設定する項目を選択します。



USB エミュレーション (3.5.1) ※デフォルト



USB IBM 固定 POS スキャナー(3.5.2)



USB エミュレーション設定-2(USB 接続モデル用)

通常はデフォルトでご利用いただけます。 別途、受信機側で指定がある場合のみ設定ください。

○まず、設定開始を読取ります。



○下記より設定する項目を選択します。



USB IBM ハンドヘルド スキャナーエミュレーション (3.5.3)



(3.5.4)

※別途 VCOM ドライバが必要です。

http://www.media9.co.jp/m_tuhan/sup

<u>port.html</u>

「Champtek 定置式 VirtualCOM ド ライバ」をご利用ください。



JAN・UPC アドオンコードの読取り-1 (新雑誌コード等)

バーコードに追加の5桁、2桁のバーコードがある場合のバーコードを読み取る設定です。 新雑誌コード(13桁+5桁)のバーコードも対象になります。

○まず、設定開始を読取ります。





OFF (4.1.1)



(4.1.2)



JAN・UPC アドオンコードの読取り-2(新雑誌コード等)

バーコードに追加の5桁、2桁のバーコードがある場合のバーコードを読み取る設定です。 新雑誌コード(13桁+5桁)のバーコードも対象になります。

○まず、設定開始を読取ります。



○下記より設定する項目を選択します。



JAN/UPC ON + アドオンコード ON (4.1.3) ※デフォルト ※アドオンがない場合は 通常通り送信します。



JAN/UPC + ADDON 必須 ON (378/379/414/419/434/439/529/977 の 時) (4.1.5)



CODE 128/EAN 128 の読取り

ON にするとコードを認識して送信します。 OFF にするとコードを認識せず、送信しません。

○まず、設定開始を読取ります。



○下記より設定する項目を選択します。



CODE 128/EAN 128 ON

(4.1.20) ※デフォルト



○最後に下記の設定終了を読取り設定完了です。



CODE39・CODE32の読取り-1

ON にするとコードを認識して送信します。 OFF にするとコードを認識せず、送信しません。

○まず、設定開始を読取ります。



○下記より設定する項目を選択します。



CODE 39 ON (4.1.25) ※デフォルト



(4.1.26)

○最後に下記の設定終了を読取り設定完了です。



CODE39・CODE32の読取り-2

ON にするとコードを認識して送信します。 OFF にするとコードを認識せず、送信しません。

○まず、設定開始を読取ります。



○下記より設定する項目を選択します。





(4.1.28)

○最後に下記の設定終了を読取り設定完了です。



CODABAR (NW-7)の読取り

ON にするとコードを認識して送信します。 OFF にするとコードを認識せず、送信しません。

<u> 〇デフォルト値</u>

- ・LB75Vxxxxx シリーズ : 無効
- ・M9FNxxxxx シリーズ (2017年4月以前): 無効
- ・M9FNxxxxx シリーズ (2017年5月以降): 有効

○まず、設定開始を読取ります。



設定開始(1.1)

○下記より設定する項目を選択します。





○最後に下記の設定終了を読取り設定完了です。



設定終了(1.1)

34

INTERLEAVED 2/5 の読取り

ON にするとコードを認識して送信します。 OFF にするとコードを認識せず、送信しません。

○まず、設定開始を読取ります。







(4.1.36) ※デフォルト

○最後に下記の設定終了を読取り設定完了です。



MSI PLESSEY の読取り

ON にするとコードを認識して送信します。 OFF にするとコードを認識せず、送信しません。

○まず、設定開始を読取ります。



○下記より設定する項目を選択します。



MSI PLESSEY ON (4.1.39)



(4.1.40) ※デフォルト

○最後に下記の設定終了を読取り設定完了です。


CODE 93 の読取り

ON にするとコードを認識して送信します。 OFF にするとコードを認識せず、送信しません。

○まず、設定開始を読取ります。



○下記より設定する項目を選択します。





(4.1.42) ※デフォルト

○最後に下記の設定終了を読取り設定完了です。



ISBN10 への変換

ON にすると ISBN10(古雑誌コード)へ変換します。 OFF にすると通常のコードとして送信します。

○まず、設定開始を読取ります。



○下記より設定する項目を選択します。



ISBN10 変換 ON (4.1.41)



ISBN10 変換 OFF (4.1.44) デフォルト

○最後に下記の設定終了を読取り設定完了です。



ISSN の読取り

ON にすると8桁での認識を行います。 OFF にすると 13 桁での認識を行います。

○まず、設定開始を読取ります。



○下記より設定する項目を選択します。



ISSN ON (4.1.45)



(JAN へ変換) デフォルト

○最後に下記の設定終了を読取り設定完了です。



※設定開始→設定する項目→設定終了の順に読取ります。 ※読取りを有効にしても読み取れない場合、最小読取り桁数をご確認ください。

39

GS1 DATABAR の読取り

ON にするとコードを認識して送信します。 OFF にするとコードを認識せず、送信しません。

○まず、設定開始を読取ります。



○下記より設定する項目を選択します。



(4.1.47)



(4.1.48) デフォルト

○最後に下記の設定終了を読取り設定完了です。



GS1 DATABAR EXPANDED の読取り

ON にするとコードを認識して送信します。 OFF にするとコードを認識せず、送信しません。

○まず、設定開始を読取ります。



○下記より設定する項目を選択します。



GS1 DATABAR EXPANDED ON

(4.1.49)



(4.1.50)

デフォルト

○最後に下記の設定終了を読取り設定完了です。



GS1 DATABAR LIMITED の読取り

ON にするとコードを認識して送信します。 OFF にするとコードを認識せず、送信しません。

○まず、設定開始を読取ります。





(4.1.49)



デフォルト

○最後に下記の設定終了を読取り設定完了です。



最小読取り桁数の設定(説明)

桁数の少ないバーコードとしての誤読を防ぐため 1桁、2桁等、桁数の少ないバーコードは初期値で読取りが無効になっております。 これらのコードを読み取る際は最小読取り桁数を変更ください。 1桁、2桁のチェックディジット無しのコードは光の反射や印字の良し悪しで 誤読が出る確率が上がりますのでご注意ください。

○設定方法

1.P43~P44 より対象のコードの種類を選択します。

2.P45~P46より最小読取り桁数を指定します。(1桁から読む場合は「1桁から(4.3.1)」を指定します。)

○設定の流れ



最小読取り桁数の設定(コードの指定 1)

設定手順は P42 をご確認ください。 ○まず、設定開始を読取ります。



設定開始(1.1)

○下記より設定する項目を選択します。



(4.2.1)



CODE39 の最小読取り桁数設定 (4.2.2)





INTERLEAVED 2/5 の 最小読取り桁数設定 (4.2.4)

最小読取り桁数の設定(コードの指定2)

設定手順は P42 をご確認ください。

○まず、設定開始を読取ります。



○下記より設定する項目を選択します。



MSI Plessey の最小読取り桁数設定 (4.2.32)



Code93 の 最小読取り桁数設定 (4.2.33)

最小読取り桁数の設定(桁数の設定(1~9桁))

設定手順は P42 をご確認ください。





2桁から(4.3.2)















○最後に下記の設定終了を読取り設定完了です。



46※設定手順:設定開始→P44 又は P46 のコードの指定→桁数の指定(このページ) 最小読取り桁数の設定(桁数の設定(10~16桁))

設定手順は P42 をご確認ください。



10 桁から(4.2.22)



11 桁から (4.2.23)



12 桁から (4.2.24)



13 桁から (4.2.25)



14 桁から(4.2.26)



15 桁から(4.2.27)



16 桁から (4.2.28)



日本向け ISBN の特殊設定-1(セパレート/送信等)

デフォルトの設定で ISBN は送信されます。 別途、ソフト側等で特殊設定が必要な場合のみ設定ください。

○まず、設定開始を読取ります。



○下記より設定する項目を選択します。



978/192 JAPANESE BOOK CODE 送信(4.4.1) ※デフォルト





日本向け ISBN の特殊設定-2(セパレート/送信等)

デフォルトの設定で ISBN は送信されます。 別途、ソフト側等で特殊設定が必要な場合のみ設定ください。

○まず、設定開始を読取ります。



○下記より設定する項目を選択します。







日本向け ISBN の特殊設定-3(セパレート/送信等)

デフォルトの設定で ISBN は送信されます。 別途、ソフト側等で特殊設定が必要な場合のみ設定ください。

1.設定開始を読取ります。



2.下記より設定する項目を選択します。



任意のコードセパレータ(4.4.7)

3.P80~P92のASCII表より設定する項目を選択します

4.最後に下記の設定終了を読取り設定完了です。



50 ※設定開始→設定する項目→P80~P92のASCI表から項目を選択→設定終了の順に読取ります。

先頭に文字や制御コード(改行など)を付加する

バーコードデータの先頭に文字を付加します。(5文字まで)

1.設定開始を読取ります。



設定開始(1.1)

2.下記より設定する項目を選択します。



先頭文字の設定開始(5.1.1)

 3. P80~P92のASCII表より設定する項目を選択します ※5文字まで可能です。

4.下記より設定する項目を選択します。



5.最後に下記の設定終了を読取り設定完了です。



設定終了(1.1)

51 ※設定開始→設定する項目→P80~P92のASCII表から項目を選択→設定終了の順に読取ります。

末尾に文字や制御コード(改行など)を付加する

バーコードデータの末尾に文字を付加します。※5文字まで可能です。

1.設定開始を読取ります。



設定開始(1.1)

2.下記より設定する項目を選択します。



字の設定開始(5.2.5)

3. P80~P92のASCII表より設定する項目を選択します ※ 5 文字まで可能です。

4.下記より設定する項目を選択します。



5.最後に下記の設定終了を読取り設定完了です。



52※設定開始→設定する項目→P80~P92のASCII表から項目を選択→設定終了の順に読取ります。

バーコードの種類の識別-1 (識別一覧表)

次ページより設定を行うことでバーコードデータの先頭に文字が付加されます。 付加される文字によってバーコードの種類を識別可能です。

○付加コート	、一覧
--------	-----

バーコードの種類	付加される文字	データのフォーマット形式
JAN13	F	D1 - D13
JAN8	FF	D1 - D8
UPCA	А	D1 - D12
UPCE	E	0 D1 - D6
Code 128	#	D1 - Dx
EAN 128	Р]C1 D1 - Dx
Code 39	*	D1 - Dx
Code 32	*	D1 - Dx
Codabar (NW-7)	%	D1 - Dx
Interleaved 2/5	i	D1 - Dx
MSI Plessey	0	D1 - Dx
Code 93	L	D1 - Dx
ISBN	F	D1 - D10
ISSN	F	D1 - D8
GS1 DataBar	U	D1 - D14
GS1 DataBar Limited	V	
GS1 DataBar Expanded	W	D1 - D74 (numeric) or D1 - D42 (alphanumeric)

バーコードの種類の識別-2(設定)

設定を ON にすることでバーコードの先頭に文字が1文字付加されます。 付加される文字によってバーコードの種類を識別可能です。 識別表は前のページを確認ください。

○まず、設定開始を読取ります。



○下記より設定する項目を選択します。







54 ※設定開始→設定する項目→設定終了の順に読取ります。

バーコードの種類の識別-3(データロジックパターン(比較表))

プリセットコード識別子は2種類あります。

デフォルトバージョンと Datalogic バージョンの比較は以下の通りです。

○付加コー	ド一覧
-------	-----

バーコードの種類	付加される文字(通常)	付加される文字(Datalogic)
JAN13	F	F
JAN8	FF	FF
UPCA	А	A
UPCE	Е	E
Code 128	#	#
EAN 128	Ρ	null (無し)
Code 39	*	*
Code 32	*	р
Codabar (NW-7)	%	%
Interleaved 2/5	i	1
MSI Plessey	0	@
Code 93	L	&
GS1 DataBar	U	R4
GS1 DataBar Limited	V	RL
GS1 DataBar Expanded	W	RX

バーコードの種類の識別-4(データロジックパターン(設定))

プリセットコード識別子は2種類あります。

通常バージョンと Datalogic バージョンの比較は前のページを確認ください。 ※バーコードの種類の識別-2 を有効にする必要があります。

○まず、設定開始を読取ります。



○下記より設定する項目を選択します。







⁵⁶ ※設定開始→設定する項目→設定終了の順に読取ります。

バーコードの種類の識別-5(コードの種類によって先頭に任意文字の付加-1)

バーコードの識別の先頭1文字を任意のものにする設定です。 下記の指示に従い設定とP54の設定を有効にしてください。

1.設定開始を読取ります。



2.次ページより設定するコードの種類を選択します。

3. P80~P92のASCII表より設定する項目を選択します

4.下記より設定する項目を選択します。



4.最後に下記の設定終了を読取り設定完了です。



設定終了(1.1) 57

※設定開始→設定する項目→設定終了の順に読取ります。

バーコードの種類の識別-5(コードの種類によって先頭に任意文字の付加-2)

P57 のコ ドの種類の選択コードです。



JAN-13 (5.3.10)



UPC-A (5.3.12)



UPC-E (5.3.13)



EAN128 (5.3.14)



CODE128 (5.3.15)



CODE39 (5.3.16)



CODE32 (5.3.17)



CODABAR (NW-7) (5.3.18)





(5.3.19)



(5.3.27)



58※設定開始→設定する項目→設定終了の順に読取ります。 UPCA を JAN13 に変換する(先頭 0 を読まない、12 桁のコードを 13 桁にする)

UPCA(12 桁)のバーコードに先頭 0 を加えて JAN13(13 桁)として認識させる設定です。 デフォルト値は FW により異なります。

- ・LB75Vxxxxx シリーズ:変換なし
- ・M9FNxxxxx シリーズ (2017 年 4 月以前): 変換なし
- ・M9FNxxxxx シリーズ (2017 年 5 月以降): 変換あり

○まず、設定開始を読取ります。



○下記より設定する項目を選択します。







59 ※設定開始→設定する項目→設定終了の順に読取ります。

UPCE を UPCA に変換する

UPCE に 0 を付加して UPCA として送信する設定です。

○まず、設定開始を読取ります。



○下記より設定する項目を選択します。







UPCE の先頭 0 を読み取る

UPCE に 0 を付加して UPCA として送信する設定です。

○まず、設定開始を読取ります。



○下記より設定する項目を選択します。







JAN-8をUPC-Aに変換する

JAN-8に0を付加してUPC-Aとして変換する設定です。

○まず、設定開始を読取ります。



○下記より設定する項目を選択します。



JAN-8 を UPC-A に変換する。 (5.4.30)



JAN-8 を UPC-A に変換しない。 (5.4.31)

※デフォルト



UPC-E チェックディジットを読み取る

UPC-Eのチェックディジットを送信するかの設定です。

○まず、設定開始を読取ります。



○下記より設定する項目を選択します。



UPC-E チェックディジット送信する (5.4.9) ※デフォルト





EAN128の CODE 識別子(]C1)の設定

EAN128の CODE 識別子(]C1)の認識を行うかの設定です。

○まず、設定開始を読取ります。



○下記より設定する項目を選択します。



EAN 128 CODE 識別子(]C1) ON (5.4.15)



EAN 128 CODE 識別子(]C1) OFF (5.4.16) ※デフォルト



JAN-8 のチェックディジット送信設定

JAN-8のチェックディジット送信を行うかの設定です。

○まず、設定開始を読取ります。



○下記より設定する項目を選択します。



JAN-8 チェックディジット ON (5.4.24) ※デフォルト





JAN-13 のチェックディジット送信設定

JAN-13のチェックディジット送信を行うかの設定です。

○まず、設定開始を読取ります。



○下記より設定する項目を選択します。



JAN-13 チェックディジット ON (5.4.26) ※デフォルト



JAN-13 チェックディジット OFF (5.4.27)



UPC-A のチェックディジット送信設定

UPC-Aのチェックディジット送信を行うかの設定です。

○まず、設定開始を読取ります。



○下記より設定する項目を選択します。



※デフォルト





UPC-A の先頭 1 文字送信設定

UPC-Aの先頭1文字を送信するかしないか選択設定です。

○まず、設定開始を読取ります。



○下記より設定する項目を選択します。



UPC-A 先頭 1 文字送信 OFF (5.4.32) ※デフォルト





CODE39のチェックディジット送信設定

CODE39 のチェックディジットを送信します。 P70 よりチェックディジットの検査を「ON」に設定ください。

○まず、設定開始を読取ります。



○下記より設定する項目を選択します。



(5.4.34)





CODE39のチェックディジット検査設定

CODE39 のチェックディジットを検査します。

○まず、設定開始を読取ります。



○下記より設定する項目を選択します。



CODE39 チェックディジット検査 OFF (5.4.36) ※デフォルト





CODABAR (NW-7) のチェックディジット送信設定 CODABAR (NW-7) のチェックディジットを送信します。

P72 よりチェックディジットの検査を「ON」に設定ください。

○まず、設定開始を読取ります。



○下記より設定する項目を選択します。



CODABAR(NW-7) チェックディジット送信 OFF(5.4.38) ※デフォルト



CODABAR(NW-7) チェックディジット送信 ON(5.4.39)



CODABAR (NW-7)のチェックディジット検査設定

CODABAR (NW-7) のチェックディジットを検査します。

○まず、設定開始を読取ります。



○下記より設定する項目を選択します。



CODABAR(NW-7) チェックディジット検査 OFF(5.4.40) ※デフォルト



CODABAR (NW-7) チェックディジット送信 ON (5.4.41)


INTERLEAVED 2/5 のチェックディジット送信設定

INTERLEAVED 2/5 のチェックディジットを送信します。 P74 よりチェックディジットの検査を「ON」に設定ください。

○まず、設定開始を読取ります。



○下記より設定する項目を選択します。



INTERLEAVED 2/5 チェックディジット送信 OFF(5.4.42) ※デフォルト



INTERLEAVED 2/5 チェックディジット送信 ON (5.4.43)



INTERLEAVED 2/5 のチェックディジット検査設定

INTERLEAVED 2/5 のチェックディジットを検査します。

○まず、設定開始を読取ります。



○下記より設定する項目を選択します。



INTERLEAVED 2/5 チェックディジット検査 OFF (5.4.44)





MSI/PLESSEY のチェックディジット送信設定

MSI/PLESSEY のチェックディジットを送信します。

○まず、設定開始を読取ります。



○下記より設定する項目を選択します。



MSI/PLESSEY チェックディジット送信 OFF (5.4.46)





ISBN のチェックディジット送信設定

ISBN のチェックディジットを送信します。

○まず、設定開始を読取ります。



○下記より設定する項目を選択します。

CODE39 START/STOP 送信設定

CODE39 START/STOP のチェックディジットを送信します。

○まず、設定開始を読取ります。

○下記より設定する項目を選択します。

CODE39 START/STOP 送信 OFF

(5.8.22) ※デフォルト

(5.8.23)

Codabar (NW-7) START/STOP 送信設定

Codabar (NW-7) START/STOP のチェックディジットを送信します。

○まず、設定開始を読取ります。

○下記より設定する項目を選択します。

Codabar(NW-7) START/STOP 送信 OFF(5.8.24) ※デフォルト

Codabar(NW-7) START/STOP 送信 ON(5.8.25)

SOH (10.1.1)

STX (10.1.2)

ETX (10.1.3)

TAB (6.1.30)

Enter-英数字側 (6.1.31)

Enter-テンキー側 (6.1.32)

ASC II 一覧表-1 (Predefined ASCII)

SOH (10.1.1)

STX (10.1.2)

ETX (10.1.3)

EOT (10.1.4)

ENQ (10.1.5)

(10.1.7)

(10.1.8)

ASCII一覧表-2(Predefined ASCII)

(10.1.13)

SO (10.1.14)

SI (10.1.15)

DC2 (10.1.18)

DC3 (10.1.19)

CAN (10.1.24)

NAK (10.1.21)

ASCII一覧表-3(Predefined ASCII)

EM (10.1.25)

ESC (10.1.27)

FS (10.1.28)

US (10.1.31)

ASCII 一覧表-4(Predefined ASCII)

% (10.1.38)

& (10.1.39)

' (10.1.40)

(10.1.41)

) (10.1.42)

* (10.1.43)

ASC II 一覧表-5(Predefined ASCII)

1 (10.1.50)

2(10.1.51)

3(10.1.52)

9 (10.1.58)

< (10.1.61)

: (10.1.59)

84 ※ASCⅡ一覧表

; (10.1.60)

ASC II 一覧表-6 (Predefined ASCII)

> (10.1.63)

? (10.1.64)

@ (10.1.65)

A (10.1.66)

C (10.1.68)

85 ※ASCⅡ一覧表

E (10.1.70)

H (10.1.73)

ASC II 一覧表-7 (Predefined ASCII)

I (10.1.74)

J (10.1.75)

K (10.1.76)

M (10.1.78)

ASCII一覧表-8(Predefined ASCII)

U (10.1.86)

V (10.1.87)

W (10.1.88)

X (10.1.89)

^ (10.1.95)

ASC II 一覧表-9(Predefined ASCII)

a (10.1.98)

b (10.1.99)

e (10.1.102)

ASCII 一覧表-10 (Predefined ASCII)

n (10.1.111)

o (10.1.112)

r (10.1.115)

u (10.1.118)

89 ※ASCII一覧表

ASCI一覧表-11 (Predefined ASCII)

y (10.1.122)

z (10.1.123)

{ (10.1.124)

| (10.1.125)

} (10.1.126)

F1 (11.1.1)

90 ※ASCⅡ一覧表

F5 (11.1.5)

ASC II 一覧表-12 (Predefined ASCII)

F7 (11.1.7)

F8 (11.1.8)

F9 (11.1.9)

F10 (11.1.10)

TAB(KBW 専用) (11.1.13)

バックスペース (11.1.16)

Enter (Alpha) (11.1.14)

Enter-テンキー (11.1.15)

ASCII一覧表-13 (Predefined ASCII)

左矢印 (11.1.19)

右矢印 (11.1.20)

上矢印(11.1.21)

下矢印(11.1.22)

Page up (11.1.23)

Page down (11.1.24)

Home (11.1.25)

(11.1.26)

デフォルト設定

スリープモード	デフォルト
スリープモード	10 分間操作なし
RS232C 接続モデル	デフォルト
ボーレート	9600
パリティ	None
データビット	8
ストップビット	2
RTS/CTS	Off
Postamble	<cr></cr>
USB 接続モデル	デフォルト
Mode	USB Keyboard Emulation
キーボードレイアウト	バージョンにより異なります。 ALT 又は JP キーボード
読取りコード	デフォルト
JAN/UPC	On アドオン:バージョンにより異なります。
Code 128/EAN 128	On
Code 39	On
Code 32	Off
Codabar	バージョンにより異なります。
Interleaved 2/5	Off
MSI Plessey	Off
Code 93	Off
ISBN	Off
ISSN	Off
GS1 DataBar	Off
GS1 DataBar Expanded	Off
最小読取り桁数	デフォルト
JAN/UPC	1
Code 39	4
Code 32	4
Codabar	6
Interleaved 2/5	8
CODE128	4
MSI Plessey	4
Code 93	4
GS1 DataBar	8